

第 3 回	介護・医療連携推進会議 議事録
--------------	------------------------

開催日時	平成28年10月11日(火)	16:00～17:00
開催場所	加野クリニック 1階	

書記 豊資会定期巡回訪問介護ステーション 管理者 藤谷

出席者	古賀市 介護支援課 介護保険係 地域医療法人 地域住民 地域住民 利用者家族 豊資会 地域連携室 社会福祉法人豊資会 訪問看護ステーションやまびこ 豊資会定期巡回訪問介護ステーション	担当者様 院長様 B様 C様 D様 相談員 理事長 管理者 管理者
-----	---	---

1、開会の挨拶

今回より、新しいご家族代表に来ていただくことが出来た。

2、出席者紹介

3、活動状況報告

- ①7月～9月の利用者数(男女別、介護度別、年齢別、世帯構成別)
 - ②7月～9月の新規利用者数(介護度別、世帯状況別) 依頼理由
 - ③7月～9月の終了者数(終了理由)
 - ④7月～9月の訪問回数、(定期・随時・時間別)コール回数(時間別)
 - ⑤7月～9月の随時訪問の内訳、回数。コール内容内訳
 - ⑥具体的な支援内容、1日あたりの支援時間
- ・パンフレットを作成し、市内のケアマネの事業所に配り、地域包括支援センターに置かせてもらった。

4、意見交換

・排泄介助で、頻繁にトイレに行くような人の対応はどのようにしているのか
→現在利用中の方で、尿意・便意があって呼ばれる利用者はいない。
排泄の介助は夜中を除いて、3時間に1回は訪問している。
漏れなどがあれば、定期の訪問時間の変更をして調整している。
コールですぐに排泄に間に合うよう駆けつけるのは難しいと考えているが、排泄リズムがつかめれば、それ合わせた定期訪問と、汚染等あった場合の随時訪問で対応して行くしかないと考えている

・定期巡回の利用となるきっかけは

→服薬の確認が必要となって利用されることが多い。定期巡回の短時間頻回の訪問がそのような要望にマッチしている。

・9月に新規で退院直後の方が利用されているが、このサービスを知ったきっかけは
→1名は豊資会のケアマネからの依頼。服薬等で頻回な訪問が必要だったため
もう一名は、6月の事例報告を聞いたケアマネさんから、相談を受けて服薬と安否確認での利用となった。

・訪問される側として、職員が毎回変わるので、名前を覚えられない。名札をつけるなり考えてほしい。

→緊急時に誰でも対応できるように、定期巡回のご利用者には、職員全員が関わるようにしている。今後利用者、職員が増えてきたら体制を考え直さなければと考えているが当面は、職員が定期の訪問でご利用者の日常の様子分かる今のやり方を続けていきたい。※1

・訪問時間に遅れる人がいる。

→その時の利用者の状況でケアの時間に差が出てしまう。定期巡回では、訪問と訪問の間の移動時間に余裕を持たせていない。※2

・職員によって、支援内容に差がある。

→訪問の目的が服薬確認で、訪問時困っている家事を手伝うとなっているため、支援内容がばらばらになってしまう※3

・会議の資料が分かりづらいので、通し番号をつけてほしい

→改善します

※1、2、3については、改善策を事業所で検討し、次回報告させていただきます。

・訪問の際に気をつけてほしいこと

一人暮らしの人の、体調の変化を継続して観察し、異常の早期発見につなげてほしい
職員同士の申し送りを確実にして、様子がおかしかったら次の訪問の職員に伝えるようにしてほしい。

高齢者は高い音が聞き取りにくいので、お腹から声を出して、ゆっくりと話しかけてほしい

5、自己評価について

次回の会議で自己評価の評価をお願いしたい。

6、次回開催日程

平成29年1月17日(火)16時～

7、閉会の挨拶

定期巡回は、今後の超高齢化対応の切り札として作られた新しいサービスです。
誰でも、住み慣れた地域・家で暮らし続けたい思いはあるはず、このサービスで
たくさんの人を支えるためには、基準が必要になると思う。どこまでやれるのか模索し
ていかないといけない。